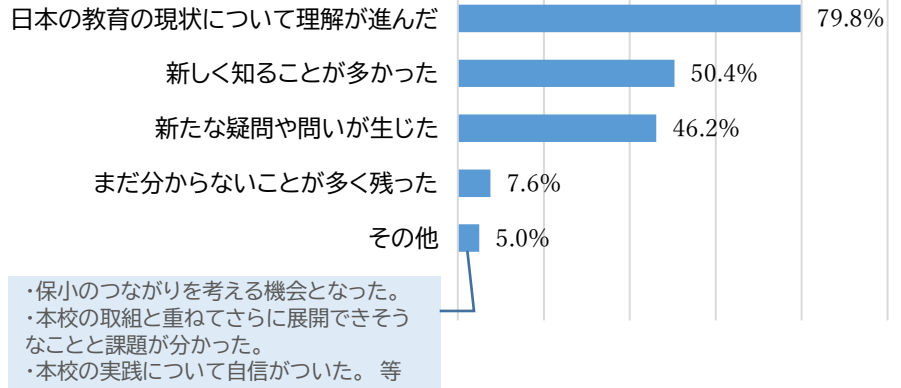
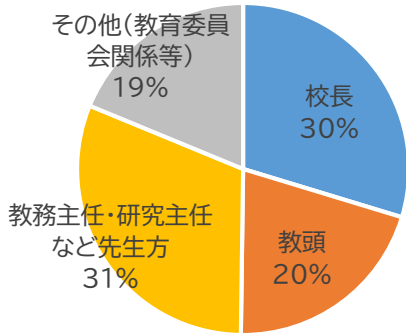




数字で見る「第2回学びの改革ミニフォーラム」(参加者アンケートより)

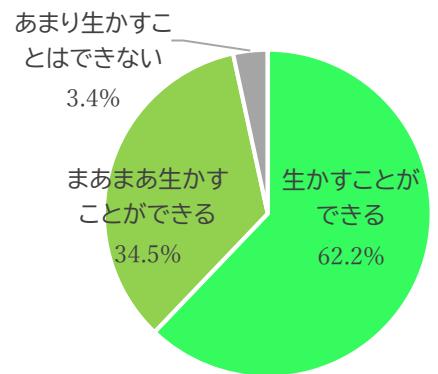
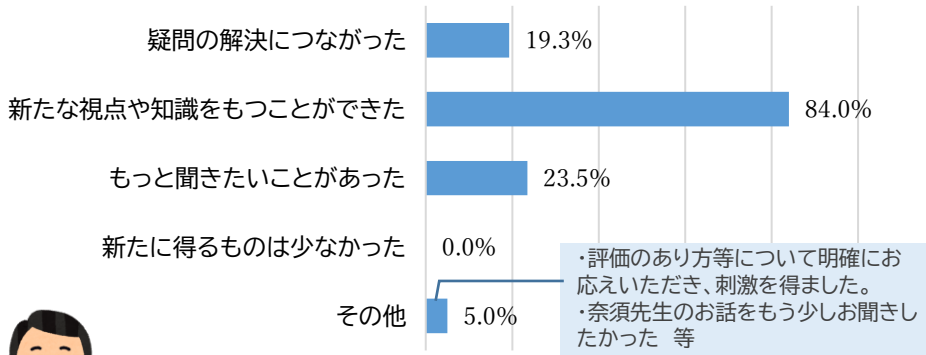
参加申込者数 **228名**

講演「学びの改革に求められる要件」について、どのようにとらえましたか。



「質問タイム」について、参加者からの質問や奈須先生のお話から研修内容を深めることはできましたか。

ミニフォーラムは、自校の学びの改革に生かすことのできる研修となりましたか。



参加された方の生の声

理科の顕微鏡の話を受けて、社会の担当だったので早速埴輪や土器を置いてみました。そうすると低学年の子も興味をもっていました。教師が知識を教える、単なる一斉授業からの脱却。自由進度学習、子どもたちが方法や場所を自分で選んで学習できる環境を構築していく支援について理解を深めることができました。早速実践をしていきます。自分の教育観に大きな刺激を与えてもらえる、大変勉強になるフォーラムでした。

大変勉強になりましたが、ついていけない自分がいます。
私も学ばなければなりません。

長野東部中のイーストカンパニーも以前から興味を持っていましたが、大変参考になりました。今回の研修に参加して良かったです。

「子どもは生まれながらにして学ぶ力をもっている」
「ICTは教師がどう使うかではなく、子どもが使う」
「授業は子ども主体でできる」「従来に戻してよいのか」多くの示唆とこれで良いのかという問いが生まれたミーティングだった。

もっとよい方法はないのか問い直し「今、やってみたいことをやってみる」学びの改革に取り組もうとしている先生方を応援していきます。

